

静岡市行財政改革推進審議会における最近の諮問及び答申の状況について

期	任期	諮問テーマ	答申概要
5期	H24.4 ~H26.4	広報事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報しずおかは、情報量と即時性を確保して必要な市政の情報公開や情報弱者への配慮を行うことで、月2回の発行を1回とすることが可能である ・ 「広告事業推進に関する基本方針案」については、妥当である
		外郭団体の公益性検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11ある外郭団体全てにおいて「市としての公益性」がある
		第3次行革大綱案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次静岡市行財政改革推進大綱（案）の策定
6期	H26.4 ~H28.4	公共建築物施設群別マネジメントの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉施設、市営住宅等をはじめとした16群の施設群別マネジメントは概ね適正である
		学校給食のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清水地区の自校方式、校外調理方式はセンター方式へ統一するよう進めてほしい
7期	H28.4 ~H30.4	ユニークベニュー（※）の推進 ※歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニークベニューを積極的に導入し、人が集まるまちづくりを進めることは重要である ・ ユニークベニューを推進するため駿府城公園のあり方の再検討が必要である (参考資料3)
		駐車場、駐輪場への民活導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間活力の積極的な活用は不可欠であり、最適な管理・運営手法を検討・導入する必要がある ・ 中心市街地放置自転車対策に徹底的に取り組み、多くの市民、観光客が訪れる魅力あるまちづくりを実現してほしい (参考資料3)
		高齢者の就労促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の業務を見直し、高齢者の個人差に応じた就労機会の拡大に繋がるような、様々な仕事を切り出してほしい ・ 高齢者の就労促進に向けたプラットフォームについて、中長期的な視点をもって取り組んでほしい (参考資料4)